

重要な取組及び主な取組の進捗状況報告

資料 2

■重要な取組				
No	戦略分類	施策名	所管	頁番号
1	基本戦略（サステイナブル戦略）	持続可能な取組につながるコンテンツの開発	淡路島観光協会	1
		あわじ環境未来島体験ツアーの企画・実施	淡路県民局	2
		リジェネラティブツーリズムの推進 （クリーンアップ活動の観光コンテンツ化）	南あわじ市	3
2	推進戦略 1（商品戦略①：物語化）	国生みの島・淡路の神話の背景を解き明かすストーリーをコンテンツとして作り込み、磨き上げ	淡路島観光協会	4
3	推進戦略 1（商品戦略①：物語化）	地場産業や農水産業の日常や技術に触れ、美しさ、おいしさ、すごさ等を現地で体感できる観光コンテンツの造成	淡路島観光協会	5
4	推進戦略 1（商品戦略①：物語化）	ストーリーテラーとしてのガイド養成とガイドを活用したプログラムの開発	淡路島観光協会	6
5	推進戦略 2（商品戦略②：高付加価値化）	「ひょうごフィールドパピリオン」や「特別感のあるプログラムの開発」などによる高付加価値化への対応	淡路島観光協会	7
6	推進戦略 2（商品戦略②：高付加価値化）	AWAJI 島博の実現に向けた取組の推進	淡路島観光協会	9
7	推進戦略 3（アメニティ戦略）	新幹線・飛行機・高速バスとレンタカー・カーシェアの活用促進、高速バス・路線バス等の持続性の向上	淡路島観光協会	10
	基本戦略（サステイナブル戦略）	公共交通機関の利便性向上及び自家用車以外の交通機関の活用促進	淡路県民局	13
8	推進戦略 3（アメニティ戦略）	観光客目線での景観の再構築（おもてなし看板の設置、島内観光案内看板の統一、島の玄関口の環境整備、街路樹の整備、観光地の環境美化）	淡路島観光協会	14
9	推進戦略 4（情報戦略）	島内の企業が互いに情報共有、情報交換の実施	淡路島観光協会	19
	推進戦略 4（情報戦略）	島外進出企業との情報交換会の開催 （宿泊特化型ホテルとの地域連携方策の検討と推進）	淡路県民局	20
10	基本戦略（サステイナブル戦略） 推進体制と検証体制	日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）を活用した目標設定と推進	淡路県民局	21
■主な取組				
11	基本戦略（サステイナブル戦略）	観光及び観光産業に対する島民の理解促進意見交換会等の実施	淡路県民局	22
12	基本戦略（サステイナブル戦略）	サイクリストの走行環境整備	淡路県民局	23
	基本戦略（サステイナブル戦略）	シンボルイベントの開催	淡路県民局	24
	推進戦略（アメニティ戦略）	淡路地域サイクルツーリズムの推進	淡路県民局	25
	推進戦略 3（アメニティ戦略）	新たな誘客ルートを確保	洲本市	26
13	推進戦略 2（商品戦略②：高付加価値化）	新たな誘客ルートを確保	洲本市	26
14	基本戦略（サステイナブル戦略）	大浜公園の利用促進	洲本市	27
15	推進戦略 2（商品戦略②：高付加価値化）	鳴門海峡エリアの観光ブランディング事業	南あわじ市	28
16	推進戦略 2（商品戦略②：高付加価値化）	多言語対応できる、ガイド・コーディネーターの養成	南あわじ市	29
17	推進戦略 2（商品戦略②：高付加価値化）	徳島空港＋レンタカー等の活用を首都圏内旅行会社等へ働きかけ	南あわじ市	30
18	推進戦略 2（商品戦略②：高付加価値化）	世界的観光立島・淡路市事業【「ゆるバス」誘致事業】	淡路市	31
19	推進体制と検証体制の確立	観光協会ツアーの実施（自主財源確保対策）	淡路島観光協会	32

重要な取組の進捗状況

(戦略分類) 基本戦略 (サステイナブル戦略)

(施策名) **No.1** 持続可能な取組につながるコンテンツの開発

(団体名) 淡路島観光協会

<概要>

- ・島内に散在する淡路島ならではのSDGsコンテンツの洗い出し
- ・洗い出したコンテンツを磨き上げ、観光協会HPからオンラインで販売

<取組状況>

- ・8プログラムを洗い出し

「淡路貴船太陽光発電で学ぶクリーンエネルギーの現状と未来」

「かいぼり体験」「ゴミ(ペットボトル)アート」「クリーンアップ活動」など

<課題>

コンテンツ造成や磨き上げをスピードアップ

<令和5年度下半期の予定>

洗い出したコンテンツを事業者とともに磨き上げ、造成
観光協会HPからオンライン販売



重要な取組の進捗状況

(団体名) 淡路県民局

(戦略分類) 基本戦略 (サステイナブル戦略)

(施策名) **No.1** あわじ環境未来島体験ツアーの企画・実施

<概要>

島内で展開されているプロジェクト現場等の見学・体験を通して、構想に対する理解を深め、SDGsや淡路島の未来を考えるきっかけとしてもらう「あわじ環境未来島体験ツアー」の企画・実施により、島内のSDGsコンテンツの洗い出しを行う。

<取組状況>

年間1~2回程度、島内のプロジェクト現場等を巡る日帰りバスツアーを実施
令和4年度:1回 参加者32名、令和3年度:1回 参加者22名

<課題>

新たな見学・体験先の創出

→ 県立洲本実業高等学校と連携し、授業内でツアー行程の作成に取り組んだ。次年度も継続して実施予定。

<令和5年度下半期の予定>

・10月28日(土) 体験ツアー開催(参加者を一般公募) ・11月18日(土) 体験ツアー開催(洲本実業高校生対象)



令和4年度に
実施した体験
ツアーの様子

(上:ミニトマト
収穫体験
左:沼島
おのころ
クルーズ)

重要な取組の進捗状況

(団体名) 南あわじ市

(戦略分類) 基本戦略 (サステイナブル戦略)

(施策名) **No.1** リジェネラティブツーリズムの推進 (クリーンアップ活動等の観光コンテンツ化)

<概要>

- ・現在、地域で取り組んでいる環境に良い影響を与える活動に、観光客も参加することで、旅の満足度を高める。

<取組状況>

- ・3海峡クリーンアップ大作戦を市公式ホームページ等で掲載し、広く参加を呼びかける。
- ・慶野松原ガイドツアーを実施する慶野松原根上がり隊では、ツアー参加者に松葉集め作業を体験していただく取組を行っている。

<課題>

- ・リジェネラティブツーリズム推進に向けた機運醸成と啓蒙活動
- ・観光客が活動に参加できる受入体制の充実
- ・ゴミの受入及び処理

<令和5年度下半期の予定>

- ・3海峡クリーンアップ大作戦 11月4日(土) 阿那賀海岸・阿万海岸・由良生石海岸・岩屋田ノ代海岸・鳴門市千鳥ヶ浜海岸
- ・国立公園慶野松原の清掃活動



重要な取組の進捗状況

(団体名) 淡路島観光協会

(戦略分類) 推進戦略 1 (商品戦略①: 物語化)

(施策名) **No.2** 国生みの島・淡路の神話の背景を解き明かすストーリーを観光コンテンツとして作り込み、磨き上げ

<概要>

- ・「なぜ古事記の国生み神話に淡路島が描かれたのか」にポイントを絞ったストーリー作り
- ・背景を解き明かす観光プログラムを造成、淡路島日本遺産ファムツアーの実施
- ・淡路島日本遺産HPの充実、旅行者へ向けたストーリーの伝播

<取組状況>

- ・**産経新聞社主催ツアーの実施** (9/21~9/23)

参加者: 8名

訪問先: 絵島、貴船神社遺跡、五斗長垣内遺跡、千光寺、

淡路文化史料館、おのころ島神社、玉青館ほか

案内人: 淡路市教育委員会 伊藤氏ほか

<課題>

核となるストーリー作り

<令和5年度下半期の予定>

ツアー実施を踏まえストーリーのブラッシュアップ、淡路島日本遺産HPの充実



【産経新聞掲載】



旅作家小林希さんと巡る 古事記・国生みの島淡路島と鳴門うずしおクルージング 3日間

国生み神話でなぜ1番目に生まれたのか 海の民と神話を解きながら巡るロマンあふれる旅

重要な取組の進捗状況

(団体名) 淡路島観光協会

(戦略分類) 推進戦略1 (商品戦略①: 物語化)

(施策名) No.3 地場産業や農水産業の日常や技術に触れ、美しさ、おいしさ、すごさ等を

<概要> 現地で体感できる観光コンテンツの造成

- ・地場産業、農水産業の臨場感あふれる現場を活用し、
淡路島らしさにこだわった観光プログラム開発(国内外対応)
- ・漁港の活性化を目指し、水揚げやセリ現場の見学コンテンツを造成
- ・魚介類の購入やイートインもできるよう磨き上げ
- ・販売体制を構築するとともに、ファムツアーの実施

<取組状況>

- ・由良漁協を活用した臨場感溢れるセリ見学体験の開発

<課題>

コンテンツ造成開発のスピードアップ

<令和5年度下半期の予定>

農業、漁業、地場産業をはじめとした、淡路島ならではの本物を体験できるコンテンツの開発と磨き上げ



重要な取組の進捗状況

(団体名) 淡路島観光協会

(戦略分類) 推進戦略 1 (商品戦略①: 物語化)

(施策名) **No. 4** ストーリーテラーとしてのガイドの養成とガイドを活用したプログラムの開発

- 概要**
- ・淡路島スルーガイドの養成(3市連携)
 - ・ガイド活用着地型プログラムの造成、販売

- 取組状況**
- ・ガイド育成の現状と課題、淡路島認定ガイド養成の協議(7/18:3市・観光協会等)



洲本市(シマトワークス)



南あわじ市(ガイド実践)



淡路市(ガイド研修)

- 【効果】**
- ・研修への相互参加促進に繋がった
 - ・ガイド育成の方向性共有ができた

- ・「南あわじ市公認ガイドと巡るプライベートガイドツアー」造成、淡路島観光協会HPでオンライン販売

南あわじ市公認地元ガイドと巡るプライベートガイドツアー【3時間コース】◆1日1グループ(5名様まで)限定◆

1. 利用人数

グループ数(1日1グループのみ)

1グループあたりの人数

予約申し込み

【基本コース(アレンジ可)】
 福良港・うずしおドームなないろ館～淡路人形座～福良漁港周辺～福良の古い街並み散策～まちなか水族館ギョギョタウン～福良マルシェ～うずの丘大鳴門橋記念館

【料金】
 3h: 9,000円～

【販売開始】
 令和5年9月21日(木)

- 課題**
- ・スルーガイド(多言語対応)の育成
 - ・ガイド増加時の手配体制【現状、協会・市が連携】

- 下半期予定**
- ・ガイド活用着地型プログラムの造成、販売
 - ・淡路島ガイド認定試験実施準備

重要な取組の進捗状況

(戦略分類) 推進戦略2 (商品戦略②: 高付加価値化)

(団体名) 淡路島観光協会

(施策名) No.5 「ひょうごフィールドパビリオン」や

「特別感のあるプログラムの開発」などによる高付加価値化への対応

<概要>

- ・着地型観光商品の開発と活用に向けた体制整備
- ・多言語対応できるガイド、コーディネーターの養成
- ・多様なエージェントとの連携による誘客・販売ルートの確保

<取組状況>

- ・沼島おのころクルーズ【FP】の磨き上げ
(はも供養祭見学+おのころ
クルーズのトライアル)
- ・島内で体験できるコンテンツの
集約、オンライン予約ページの公開



- ウェルエイジングを取り入れた 宿泊プランの造成、販売(販売実績:13名)

<課題>

- コンテンツ造成開発のスピードアップ

<令和5年度下半期の予定>

- 農業、漁業、地場産業をはじめとした、淡路島ならではの本物を体験できるコンテンツの 開発と磨き上げ

重要な取組の進捗状況

(団体名) 淡路島観光協会

(戦略分類) 推進戦略② (商品戦略: 高付加価値化)

(施策名) **No. 6** AWAJI島博の実現に向けた取組の推進

<概要>

大阪・関西万博の開催に合わせ、淡路島の良さを堪能できる魅力的なコンテンツを造成してプロモーションを行い、淡路島への誘客を促進する

<取組状況>

- ① 実行委員会の設立(令和5年5月26日)
 - ・運営体制、全体計画、令和5年度事業計画・予算の承認
- ② ロゴマークの募集(令和5年7月7日～9月14日)
 - ・島内小・中・高校、関西の美術・デザイン系大学、専門学校、公募サイト(応募280件)

<課題>

AWAJI島博の機運醸成に向けた地域への働きかけ

<令和5年度下半期の予定>

- ①AWAJI島博コーナー(観光協会HP)の開設(11月)
- ②ロゴマークの決定・公表開始(11月)
- ③島博参加事業の募集(11月～)
- ④島博サポーターの募集(11月～)
- ⑤スタンプラリーの企画
- ⑥第2回幹事会(1月)
- ⑦第2回実行委員会(2月)



2025 淡路島誘客プロモーション
AWAJI 島博
ロゴマーク募集
締め切り 令和5年9月14日(木)

2025年の大阪・関西万博に合わせ、淡路島の目的、歴史文化、食、伝統産業など島全体の魅力を堪能できる多様な観光コンテンツやイベントなどをテーマで発信し、多くの方に淡路島を訪れていただけるよう、淡路島一体となったプロモーションを展開する『AWAJI島博』を実施します。このたび、「AWAJI島博」の広報などに活用するシンボルとなるロゴマークデザインを募集します。淡路島らしさを感じるロゴマークデザインをぜひご応募ください。

AWAJI島博概要
 ●事業名称: AWAJI島博(あわじしまはく)
 ●テーマ: いのち輝く 暮らしの島
 ●期 間: 2025年4月13日(日)～10月13日(月)
 ●会 場: 淡路島全域
 ●主 催: AWAJI島博実行委員会
 (一社)淡路島観光協会、兵庫県淡路市、淡路市、島内各市町村、(一財)淡路島観光協会)

募集概要
 (1)応募資格
 ・どなたでも応募可能
 ・応募点数に制限なし
 (2)賞金
 優秀賞1点 賞金5万円
 入賞2点 賞金1万円
 (未成年の場合は高学年等)
 (3)締め切り 令和5年9月14日(木)
 (4)応募・問合せ先
 所定の応募用紙でメール、郵送、持参にて
 (一社)淡路島観光協会まで
 ☎0799-22-0742
 ✉awajishima-kankou@awaji-kankou.or.jp
 https://www.awajishima-kanko.jp/news/detail.html?id=1328

賞金
 優秀賞5万円
 入賞1万円

詳しくは観光協会ホームページまで
 淡路島観光協会ホームページURL
 https://www.awajishima-kanko.jp/news/detail.html?id=1328

重要な取組の進捗状況

(団体名) 淡路島観光協会



(戦略分類) 推進戦略3 (アメニティ戦略)

(施策名) **No.7** 新幹線・飛行機・高速バスとレンタカー・カーシェアの活用促進、
高速バス・路線バス等の接続性の向上

概要 ・EV充電器・レンタカー、カーシェアの導入 ・淡路島発着バス検索アプリ「バスモ」の周知促進
・徳島空港活用をOTA等へ働きかけPR強化

取組状況



- ・宿泊施設へのEV充電器導入(16基申請準備中)
※協会把握分
- ・協会HPでレンタカーオンライン販売開始

【観光協会HP】

- ・カーシェア導入状況(次頁)
- ・淡路島発着バス検索アプリ「バスモ」周知促進

【洲本観光案内所】

【うずの丘HP】

- ・徳島空港活用及びPR働きかけ(ANA・JAL・じゃらん・楽天・JTB)




【じゃらん関東東北版9月号】

- ・上記のほか、JTBHPにも掲載
また、楽天トラベル、JALからPR案提示



課題 ・車以外の交通手段の整備(首都圏・インバウンド対策)
→北部、中南部のエリアを結ぶシャトルバスの運行

下半期予定 ・シャトルバス運行計画の提案
・「バスモ」周知促進(観光施設等HPとの連携促進)

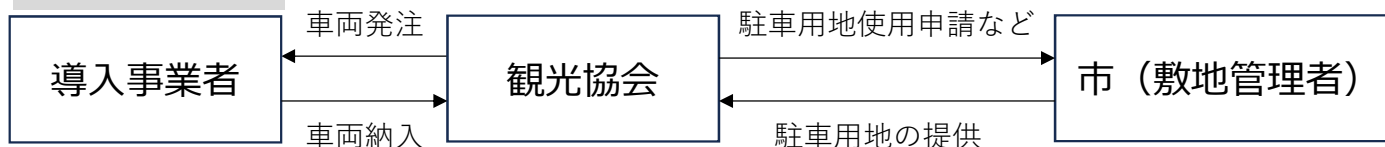
カーシェアリング導入状況

R5.9.14現在

【導入状況】

区分	導入予定地（台数）	導入予定事業者	導入予定時期
南あわじ市	陸の港西淡（3台） 淡路人形座（3台） （道の駅福良隣接）	兵庫ダイハツ	11月導入予定
淡路市	津名港ターミナル（3台） 東浦バスターミナル（3台） （道の駅東浦隣接）	手続き中	12～1月 導入予定

【導入フロー】



【導入協議中】

区分	導入予定地	導入協議社（協議日）	導入予定時期
洲本市	洲本市等管理の駐車場 （公用車シェアを検討中）	タイムズ（5/10） 兵庫ダイハツ（予定）	指定管理者公募 で内部調整中

【参考：民間】島内宿泊施設等への導入状況

R5.9.14現在

【導入済】

施設名	台数	導入社
グランドニッコー淡路（淡路夢舞台）	3台	タイムズ
ホテル&リゾート 南淡路	2台	兵庫ダイハツ（トヨタシェア）
Joycaカーシェアサービス淡路島St	2台	森本商店（Joyca代理店）
Frogs FARM	2台	スカイレンタカー
ホテルニューアワジ	1台	兵庫ダイハツ（トヨタシェア）
国民宿舎 慶野松原荘	1台	兵庫ダイハツ（トヨタシェア）
うめ丸	1台	兵庫ダイハツ（トヨタシェア）

※淡路島観光協会調べ

重要な取組の進捗状況

(戦略分類) 基本戦略 (サステイナブル戦略)

(施策名) **No.7** 公共交通機関の利便性向上及び自家用車以外の交通機関の活用促進

(団体名) 淡路県民局

<概要>

- ①交通事業者が取り組む高速舞子バスストップのリニューアルを支援する。
- ②淡路島発着の公共交通乗換検索サイトを充実させる。

<取組状況>

- ①交通事業者が中心となり、施設管理者と協議を開始。
- ②淡路島発着の高速バス等乗換検索サイト「バスモ」に路線バスや船舶等のルートを追加するとともに、観光地名からもルート検索できる機能を追加した。(令和5年7月1日公開)

<課題>

- ①交通事業者や施設管理者が多数のため、調整に時間を要する。
- ②「バスモ」の認知度向上。

<令和5年度下半期の予定>

- ①技術的助言や協議資料の作成支援等を行い、施設管理者協議の円滑化を図る。
- ②観光協会や島内3市と連携して、観光・宿泊施設等のホームページに二次元コード等の掲載を働き掛ける。また、「バスモ」のさらなる機能充実(多言語化等)を検討する。



路面案内標示の整備イメージ



バスモはこちら↑

重要な取組の進捗状況

(団体名) 淡路島観光協会

(戦略分類) 推進戦略3 (アメニティ戦略)

(施策名) **No. 8** 観光客目線での景観の再構築 (おもてなし看板の設置、島内観光案内看板の統一、島の玄関口の環境整備、街路樹の整備、観光地の環境美化)

<概要>

- ・景観の再構築など観光客目線を取り入れた提案を行う

<取組状況>

- ・観光客目線からみて、島の景観に調和するような街路樹等の景観再構築が重要な箇所(ゾーン)イメージの作成

【箇所(ゾーン)イメージの考え方】

- ①島の玄関口(インター周辺)
- ②人流拠点(主要観光地、宿泊施設周辺)
- ③交通拠点(道の駅やバスセンター周辺)

【整備イメージ】別添「整備事例(イメージ)」参考

<課題>

- ・道路管理者等も含めた課題意識の共有
- ・大阪・関西万博、AWAJI島博開催に向けた沿道整備など

<令和5年度下半期の予定>

- ・道路管理者(県土木)との意見交換、他地域の整備事例調査(先進地)



【淡路島北部要望箇所案】

景観再構築が重要な箇所（ゾーン）イメージ

道の駅あわじ～淡路IC～東海岸沿い～道の駅東浦周辺ゾーン

県道157号線



県道31号線



国道28号線



東浦BT前



	要望路線・箇所	現況	旅行者目線から
1	県道157号線 (淡路IC出口～淡路島公園方面)	樹形が小さく、 背丈も低い 木陰もできない	観光地へ向かう 雰囲気のある景観
2	国道28号線 (南鷓崎交差点～浄化センター前付近)		海岸線と調和した景観
3	県道31号線 (明石海峡クルーズP～淡路松帆交差点)		木陰ができるような景観
4	東浦BT周辺道路		

景観再構築が重要な箇所（ゾーン）イメージ



景観再構築が重要な箇所（ゾーン）イメージ



【参考】整備事例（イメージ）



【福島市美術館図書館通り】



【名古屋市内】



【四日市市 悠彩の里】

- 【旅行者目線】
- ・普段の日常と違う雰囲気、景観、空間が楽しめる
 - ・旅行をして、癒され元気になって帰っていただける
 - ・また来たいと思っただけ



快適に過ごせる観光地

重要な取組の進捗状況

(団体名) 淡路島観光協会

(戦略分類) 推進戦略4 (情報戦略)

(施策名) No.9 島内の企業が互いに情報共有、情報交換の実施

<概要>

- ・島外からの進出企業と、双方の戦略・事業計画の情報交換
- ・「淡路島総合観光戦略」に沿った効率的で相乗効果の高いアクションプランの実施

<取組状況>

- ・パソナグループと意見交換(令和5年2月)
→インバウンド向け商談会など相互連携
- ・アクアイグニス淡路島と意見交換(令和5年7月)
→インバウンド向け商談会相互連携、着地型コンテンツ開発

<課題>

- ・実務担当レベルでのパイプ作りのみにとどまらない、相互事業連携(淡路島西海岸パンフ、パソナシャトルバスの主要観光地での停車など)

<令和5年度下半期の予定>

- ・バルニバービとの意見交換



重要な取組の進捗状況

(団体名) 淡路県民局

(戦略分類) 推進戦略④ (情報戦略)
(施策名)

No. 9 島外進出企業との情報交換会の開催 (宿泊特化型ホテルとの地域連携方策の検討と推進)

<概要>

宿泊特化型ホテル「フェアフィールド・バイ・マリオット・兵庫淡路島東浦、福良」を拠点に、地域から提供される”体験”“食”“交通”の3要素について、地域の観光事業者・団体、行政等をメンバーとするワーキングチームを設置し、ホテルと地域との連携を深める取組を進める。

<取組状況>

○ ワーキングチーム会議の開催による検討(東浦、福良各2回)

- ・テーマ別体験コンテンツの洗い出しと設定
- ・ホテルと飲食店の情報共有
- ・2次交通対策の充実と3次交通の有効利用

○ 会議を経て、取組方針をとりまとめ(東浦:6/27オープニングセレモニーで公表)

<令和5年度下半期の予定>

○ ホテル側への誘客につながる地域情報の提供

(イベント情報、busumoの活用、カーシェアリングサービスの利用)

○ ホテルと飲食店が情報共有できる仕組みづくり(繁閑期、定休日等)

フェアフィールド・バイ・マリオット・兵庫淡路島東浦における地域連携 (令和5年6月27日)

令和5年6月27日に開催する宿泊特化型ホテル「フェアフィールド・バイ・マリオット・兵庫淡路島東浦」を拠点に、地域から提供される”体験”“食”“交通”の3要素について、地域の観光事業者・団体、行政等をメンバーとするワーキングチームを設置し、ホテルと地域との連携を深める取組を以下のとおり進める。

(構成団体)
淡路島観光協会、淡路市商工会、あわじ文化村協議会、淡路市、兵庫県淡路県民局
積水ハウス(株) (開発事業部トリップベース事業推進室)
マリオット・インターナショナル (フェアフィールド・バイ・マリオット・兵庫淡路島東浦)
【事務局】 淡路市 (商工観光課)、兵庫県淡路県民局 (交流高潮室)

取組の方向性		
体験	食	交通
<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 東浦及び周辺の日常と文化を知ることができるコンテンツのPR <p>【取組の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ エリアをテーマ別、町からの移動時間、距離、SDGs等に整理して情報提供(テーマ別) ○ 世界に誇る明石海峡大橋の雄大さを伝える ○ 歴史・文化・芸術の深みを伝える ○ 淡路島の暮らしや自然の魅力を感じる ○ 自然の楽しさや魅力を伝える ○ 東浦～淡路市内南進行 トレイル など 	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 淡路島のテロワール食材と”食”のPR ■ 営業時間の延長、定休日の分散化、多様な営業形態への対応 <p>【取組の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 飲食店・淡路島のテロワール食材とグルメ、店舗情報の紹介 ○ 観光と飲食店の相互の情報共有等について、商工会等も協力 	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 2次交通対策の充実 ・ 公共交通情報の活用促進 ・ 観光事業者からの顧客と案内の移動充実 ■ 3次交通の有効利用 <p>【取組の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 公共交通機関の活用促進等 ○ 高速バス利用者や海上交通利用者等へのレジャー情報の提供やカーシェアリングの導入検討 ○ レンタカー、EVAバス等の情報提供

【東浦地域の特色を生かしたパッケージのイメージ】

フェアフィールド・バイ・マリオット・兵庫淡路島東浦に泊まって、...
(体験) 千年一酒蔵見学、お餅づくり、野鳥断崖保存館での学び
(食) 地元の飲食店でのテロワールな食体験(生しらす丼、淡路島えびす鍋 等)
※ 淡路SAや岩屋港からも便利！エリア周辺の散策ならサイクリングもよし！

重要な取組の進捗状況

(団体名) 淡路県民局

(戦略分類) 基本戦略 (サステイナブル戦略)、推進体制と検証体制の確立

(施策名) **No.10** 日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)を活用した目標設定と推進

<概要>

淡路島総合観光戦略の推進状況を客観的に評価できるよう、JSTS-Dのうちから観光戦略の推進に必要なガイドライン項目を抽出し、アクションプランごとに対応させる。

<取組状況>

- ・ 淡路島総合観光戦略で取り組むアクションプラン141項目に対し、JSTS-Dガイドラインに対応する項目を確認中。

<参考> JSTS-Dのガイドライン概要

- A 持続可能なマネジメント (16項目)
観光地経営、モニタリング など
- B 社会経済のサステナビリティ (8項目)
効果測定、受入環境整備 など
- C 文化的サステナビリティ (8項目)
景観や文化遺産の保護 など
- D 環境のサステナビリティ (15項目)
自然遺産保護、資源の管理 など

<令和5年度下半期の予定>

- ・ 持続可能な観光地域づくりに知見のある者に対して調査を行う。
- ・ JSTS-Dガイドラインの対応項目等を踏まえ、アクションプランを客観的に評価できるようにする。

主な取組の進捗状況

(団体名) 淡路県民局

(戦略分類) 基本戦略 (サステイナブル戦略)

(施策名) **No. 11** 観光及び観光産業に対する島民の理解促進意見交換会等の実施

<概要>

島民の観光及び観光産業に対する理解を深めるため、広報媒体を活用して観光戦略の周知を図るとともに、各種団体の総会や研修会等の機会を活用して観光戦略の普及啓発や意見交換を行う。

<取組状況>

- 県民だよりひょうご4月号、7月号掲載(島内全戸配付)
- あわじ環境未来島構想推進協議会総会(令和5年5月23日)
- 洲本市議会議員研修会(令和5年5月25日)
- 第1回「環境立島淡路」島民会議推進部会(令和5年6月8日)

<課題>

- 周知機会のさらなる拡大

<令和5年度下半期の予定>

- 各種団体の会合の機会に実施



主な取組の進捗状況

(団体名) 淡路県民局

(戦略分類) 基本戦略 (サステイナブル戦略)

(施策名) **No. 12** サイクリストの走行環境整備

<概要>

休憩スポットも含めた利用状況 (利用ニーズ) の把握により、整備が必要な箇所等の抽出を行い、サイクリストに配慮した走行環境整備を効果的に実施する。

<取組状況>

利用者ニーズの効率的な把握のため、令和5年9月にインターネット上で回答出来るアンケートサイトを立上げ。

<課題>

アンケートの回答件数を増やし、より多くの利用者ニーズを把握する。

<令和5年度下半期の予定>

観光協会や島内3市と連携して、ホームページや広報紙への掲載、サイクリング関連イベント等での周知に取組み、回答件数の増加を図る。



ルート案内標識



サイクルラック

過年度の整備状況

アンケートの回答はこちら→



主な取組の進捗状況

(団体名) 淡路県民局

(戦略分類) 基本戦略、推進戦略3

(施策名) **No. 12** シンボルイベントの開催

<概要>

他地域のサイクリングイベントとの連携も視野に入れたファンライド形式の淡路島ロングライド150を4年ぶりに開催する。

<取組状況>

開催日時: 9/18(月・祝) 5:45～スタート

※9/17(日)にゼッケン引き換えと前夜祭を開催

参加者: 1,878人(県内545人、近畿圏(兵庫県以外)572人、近畿圏外759人、海外2人)

(1) コースの途中に4カ所のエイドステーション(洲本大浜公園、灘、慶野松原、多賀の浜)を設置し、豚汁、島かきあげ天、温そうめん、玉ねぎスープといった地元食材を使用した食事を提供。

(2) 前夜祭において県のブースを出展し、以下の取組を展開

- ・バーチャルサイクリング(島内サイクリングコース体験)
- ・大鳴門橋自転車道のPR活動
- ・滋賀県職員による前夜祭ステージでのビワイチPR、アワイチ・ビワイチPRブースの設置
- ・トレック・ジャパン(株)と県との合同でブースを設置し、参加者をサポート



主な取組の進捗状況

(戦略分類) 推進戦略③ (アメニティ戦略)

(施策名) **No. 12** 淡路地域サイクルツーリズムの推進

(団体名) 淡路県民局

<概要>

新潟県の「サドイチ」や滋賀県の「ビワイチ」など、他地域のサイクリングルートと連携することで、「アワイチ」の知名度向上や、更なるサイクリストの誘客に取り組む。

<取組状況>

(滋賀県・ビワイチとの連携)

- ・Instagramを使った合同のフォトコンテストを実施(R5.4.1～6.30)
- ・サイクリングミッションアプリ「DIIIIG(ディグ)」を活用したイベントの開催(R5.4.1～R6.3.31)

(新潟県・サドイチとの連携)

- ・双方のサイクリングイベント等を活用して、サイクリストが両地域を訪れるための仕掛けづくりを検討(新潟・兵庫連携会議(R5.9.5 両県知事出席)にて提案)

<課題>

- ・サドイチとの連携については、R6年度以降の具体的な連携方法について今後調整



 **AWAJI ISLAND
CYCLE TOURISM**
淡路島サイクルツーリズム

主な取組の進捗状況

(戦略分類) 推進戦略2 (商品戦略②: 高付加価値化)

(団体名) 洲本市

(施策名) **No. 13** 新たな誘客ルートを確保

<概要>

商船三井が運航する「にっぽん丸」の淡路島初寄港を成功させ、これを契機として、クルーズ船を活用した新たな誘客ルートを確保し、淡路島内の観光事業を推進する。

<取組状況>

令和5年7月31日に「にっぽん丸」の淡路島初寄港記念式典を実施。

蒼開学園ジャズバンド部演奏のもと、300人を超える乗客が来島し、島内観光を実施。

洲本港上陸時に、洲本市産品を振舞った。

<課題>

淡路島の滞在時間が4時間程度と短かった。

次年度以降の淡路島寄港が不明瞭である

<令和5年度下半期の予定>

次年度以降の寄港に向けた協議実施



主な取組の進捗状況

(戦略分類) 基本戦略 (サステイナブル戦略)

(団体名) 洲本市

(施策名) **No. 14** 大浜公園の利用促進

<概要>

海水浴シーズン以外での公園利用を促進するため、民間活力を生かしイベント等を誘致する。

<取組状況>

○みんなで作る洲本市PRイベントの実施

期間: 令和5年8月～令和5年12月31日

内容: 放置竹林から伐採した竹を活用し、灯籠づくりを行う。

完成した作品によるライトアップ及び大型なブランコを制作し映えスポットを創出する。

○日本発！パワービルディングコンテストの実施

<課題>

毎年度開催することが可能なイベントの誘致が必要



主な取組の進捗状況

(団体名) 南あわじ市

(戦略分類) 推進戦略2 (商品戦略②: 高付加価値化)

(施策名) **No. 15** 鳴門海峡エリアの観光ブランディング事業

<概要>

- ・鳴門海峡の渦潮が育む海の幸を活かしたグルメ開発や、鳴門海峡エリアの自然と体験コンテンツをPRすることで、ブランド力を高める。

<取組状況>

- ・うずの幸グルメの認知度向上イベントの準備、お披露目会の開催準備
- ・カップイングルメの整理、パンフレット及びHPでの発信準備
- ・首都圏プロモーション実施準備(じゃらんnetでの特集ページ、羽田空港ロビーでの掲出、JAL機内誌の広告掲載)

<課題>

- ・うずの幸の認知度の向上
- ・参画事業者による自走化、参画事業者の増加

<令和5年度下半期の予定>

- ・うずの幸グルメワークショップの開催、お披露目会の開催
- ・うずの幸及びカップイングルメの情報発信(パンフレット・HP)



主な取組の進捗状況

(団体名) 南あわじ市

(戦略分類) 推進戦略2 (商品戦略②: 高付加価値化)

(施策名) **No.16** 多言語対応できる、ガイド・コーディネーターの養成

<概要>

- ・生産者等現地の生活者との橋渡しやコーディネートのできる人材を養成する。

<取組状況>

- ・福良町歩きツアー研修の実施(認定ガイド(1期生)による2期生へのガイド)
- ・京都二条城のガイドツアー研修(英語ガイドによるツアー研修及び意見交換会)
- ・慶野松原研修(慶野松原根上がり隊によるガイド研修)

<課題>

- ・認定ガイドの増員
- ・観光ガイドの商品化、全島案内化

<令和5年度下半期の予定>

- ・沼島研修の実施(おのころクルーズガイド研修)
- ・二期生によるモニターガイド
- ・二期生の認定試験



主な取組の進捗状況

(団体名) 南あわじ市

(戦略分類) 推進戦略2 (商品戦略②: 高付加価値化)

(施策名) **No. 17** 徳島空港+レンタカー等の活用を首都圏内旅行会社等へ働きかけ

<概要>

- ・徳島空港+レンタカー等の活用を航空会社、旅行会社、OTA等に働きかけ、旅行雑誌・Web等での淡路島特集を展開。

<取組状況>

- ・南あわじ市独自施策として、オニオンバス(徳島空港線バス)を
令和5年7月1日(土)～令和6年3月31日(日)まで期間限定で運行。

<課題>

- ・関東圏において「淡路島」の認知度は一定あるものの、関東圏からの最短ルートが徳島空港経由であることが認知されていない。
- ・垂水ICにおける週末ごとの慢性的な渋滞を解消するための新たな人流形成としても期待。 ⇒移動ルートの周知が最重要課題

<令和5年度下半期の予定>

「南あわじ市の観光地や特産品などの観光資源」・「東京～淡路島が2時間」をPRし、観光地への誘客に資するため、東京都内で観光資源と連携した事業周知イベントを開催する。

・令和5年10月20日(金)～令和5年10月21日(土) 東京交通会館(千代田区有楽町)

・(P) 令和6年2月中旬 KITTE丸の内(千代田丸の内)

ほか、各種広告媒体への掲載(適時)



主な取組の進捗状況

(戦略分類) 推進戦略2 (商品戦略②: 高付加価値化)

(団体名) 淡路市

(施策名) No. 18 世界的観光立島・淡路市事業【「ゆるバス」誘致事業】

<概要>

◆2025大阪・関西万博の機運醸成に向け、淡路市へ「ゆるバス」(以前の「ゆるキャラグランプリ」)を誘致し、本市の魅力を国内外に発信することで、誘客による地域活性化につなげる。

<取組状況>

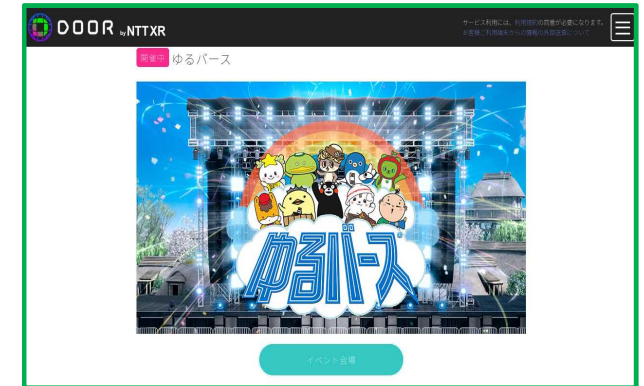
◆8月8日(火)から10月20日(金)まで実施される「ゆるバス」の投票に「あわ神」をエントリーさせ、10月末に開催される決戦投票(リアル開催)で、本市の魅力を発信する。(9月11日現在の登場キャラ数は、39体)

<課題>

- ◆実施内容の検討(次年度以降に結び付ける事業内容の精査・調整)
- ◆来場者の交通アクセスの工夫(駐車場の利用台数等)
- ◆イベントの周知(認知度UP)

<令和5年度下半期の予定>

- ◆イベントの実施(10月27日~29日)と次年度以降への事業検証 等



主な取組の進捗状況

(戦略分類) 推進体制と検証体制の確立

(施策名) **No.19** 観光協会ツアーの実施 (自主財源確保対策)

(団体名) 淡路島観光協会

<概要>

- ・観光協会ツーリストとして、募集型旅行を企画・造成
- ・観光協会HPで オンライン販売(自主財源確保対策)

<取組状況>

- ・「明石海峡大橋の主塔塔頂体験と絶景クルージングプラン (生しらす丼付)」

販売実績:3日間(7/30、9/10、9/24) 計88名

- ・チャータークルーズプラン「明石海峡大橋主塔塔頂体験と、淡路島産の魚を堪能する究極の割烹寿司を食す」
「友が島、由良要塞砲台跡を眺め、和歌山マリーナシティ、黒潮市場でBBQ、お買い物券付き」を販売 (実績なし)

<課題>

- ・オンライン予約におけるコンテンツラインナップの充実

<令和5年度下半期の予定>

- ・新たなプランの造成・販売を検討

